

新規事業評価調書

【街路事業】

都市計画道路 朝霧二見線（江井島）

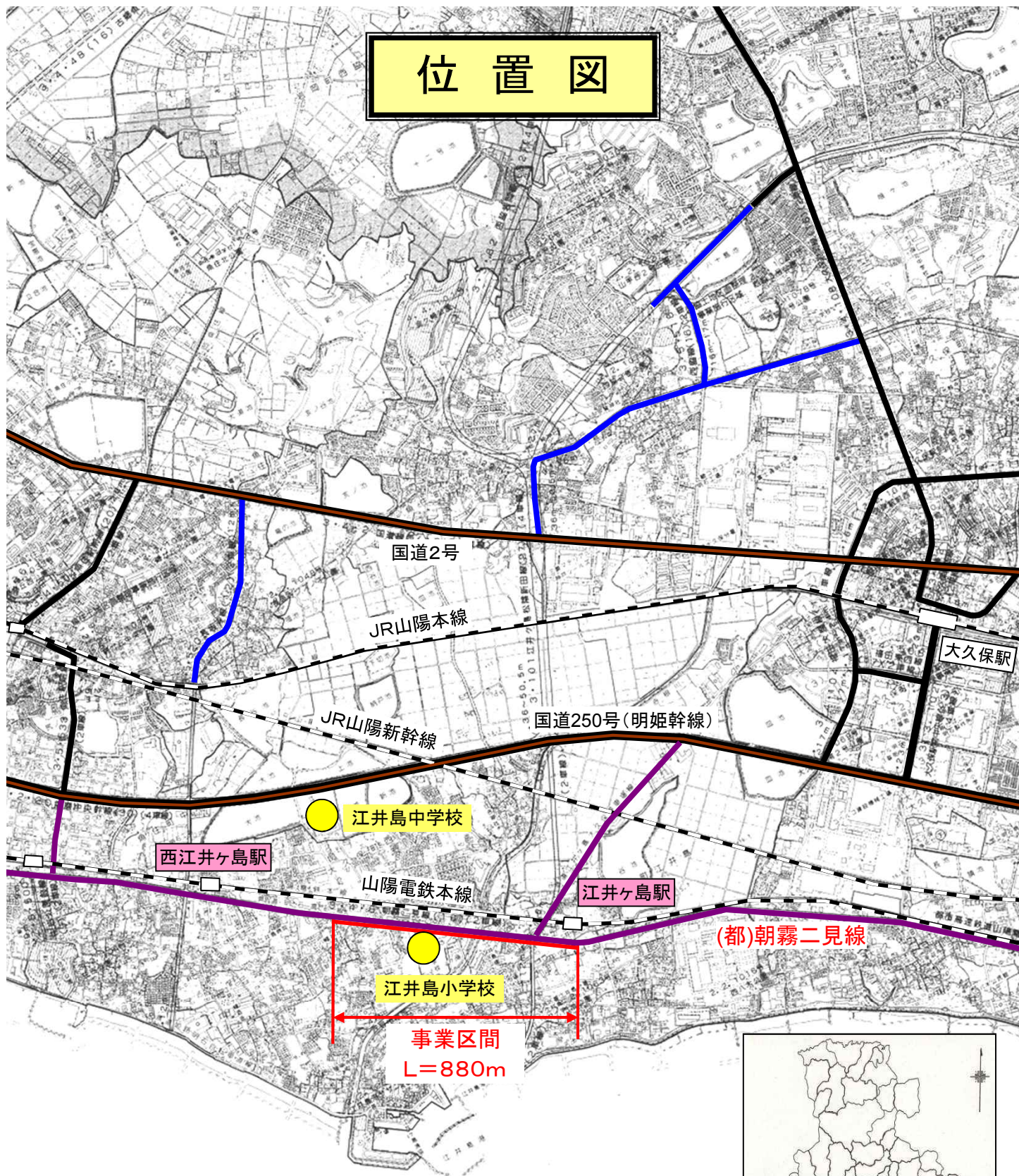
県土整備部

土木局 道路街路課

投資事業評価調書（新規）

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路担当参事 小谷 和弘 (街路班長 關 康夫)	内線	4474 (4480)	
事業種目	事業名	事業区間	総事業費	内用地補償費	着手予定年度	完了予定年度
街路事業	都市計画道路 朝霧二見線(江井島)	明石市大久保町江井島 ～大久保町西島	27億円	17億円	平成27年度	平成33年度
事業目的			事業内容			
<p>当該路線は、国道2号及び国道250号を補完し、東播磨地域臨海部の東西交通を担う幹線道路である。</p> <p>○交通安全性の向上 通学や通勤に伴う自転車や歩行者、大型車交通量が多いことから、自転車歩行者道の整備と車道の拡幅により、安全で円滑な交通を確保する。</p> <p>○防災機能の強化 緊急輸送道路を補完する道路として、大規模地震時等の防災空間を確保するため、拡幅整備を行う。</p>			<p>自転車歩行者道整備（両側） 延長：880m 幅員：2車線 両側自歩道4.5m 車道6.0m（全幅16.0m） ※現況：2車線（狭小歩道有） 現況交通量（H26年実測） 自動車：13,971台/日 （大型混入率：12.5%） 歩行者：1,319人/12h 自転車：667台/12h 〔負担割合 国55%、県22.5%、市22.5%〕</p>			
評価視点	評価結果の説明					
(1) 必要性	<p>①沿道には、江井島小学校や江井島中学校、山陽電鉄江井ヶ島駅等が立地しており、多くの小中学生等が通学や通勤で利用しているが、自動車交通が多い中、狭く不連続な歩道を通行している状況である。</p> <p>②特に大型車交通量が多い区間であるが、現道の車道幅員が狭いため、大型車両が通過する際は、非常に危険である。</p> <p>③過去5年間に36件の交通事故が発生している。</p> <p>④震災時には、避難場所となる江井島小学校へのアクセス道路が必要である。</p>					
(2) 有効性・効率性	<p>①自転車通行位置を明示した自転車歩行者道の整備や、車道の拡幅により、自転車・歩行者の安全確保と、大型車が多い現況交通を円滑に通行させることができる。</p> <p>②広幅員化により、建物火災や倒壊等が発生した際でも通行できる道路として、防災機能の強化を図ることができる。</p>					
○執行環境状況	<p>①地元自治会より早期歩道整備の要望がなされており、事業執行環境が整っている。</p> <p>②昭和21年8月都市計画決定</p>					
(3) 環境適合性	<p>①歩道舗装を透水性舗装とすることで、雨水が地盤へ浸透し、ヒートアイランドの抑制や雨水流出抑制など都市環境の改善に寄与する。</p>					
(4) 優先性	<p>①明石市を東西につなぐ幹線道路であり、交通量が多く、通学・通勤での利用者が危険な状況となっており、早期の対策が必要である。</p> <p>②江井島小学校区は、市内2番目に人口が多く、小学校児童数も市内3番目に多い地区であり、早期整備が必要である。</p>					
【事後評価】 対象・対象外	事業に対する地域住民の意識等の調査を実施し、事後評価を行う。					

位置図



凡例

- ▬ 当該街路事業
- ▬ 整備済の都市計画道路
- ▬ 事業中の都市計画道路
- ▬ 緊急輸送道路
- ▬ 緊急輸送道路を補完する道路



現況交通状況

〔必要性〕

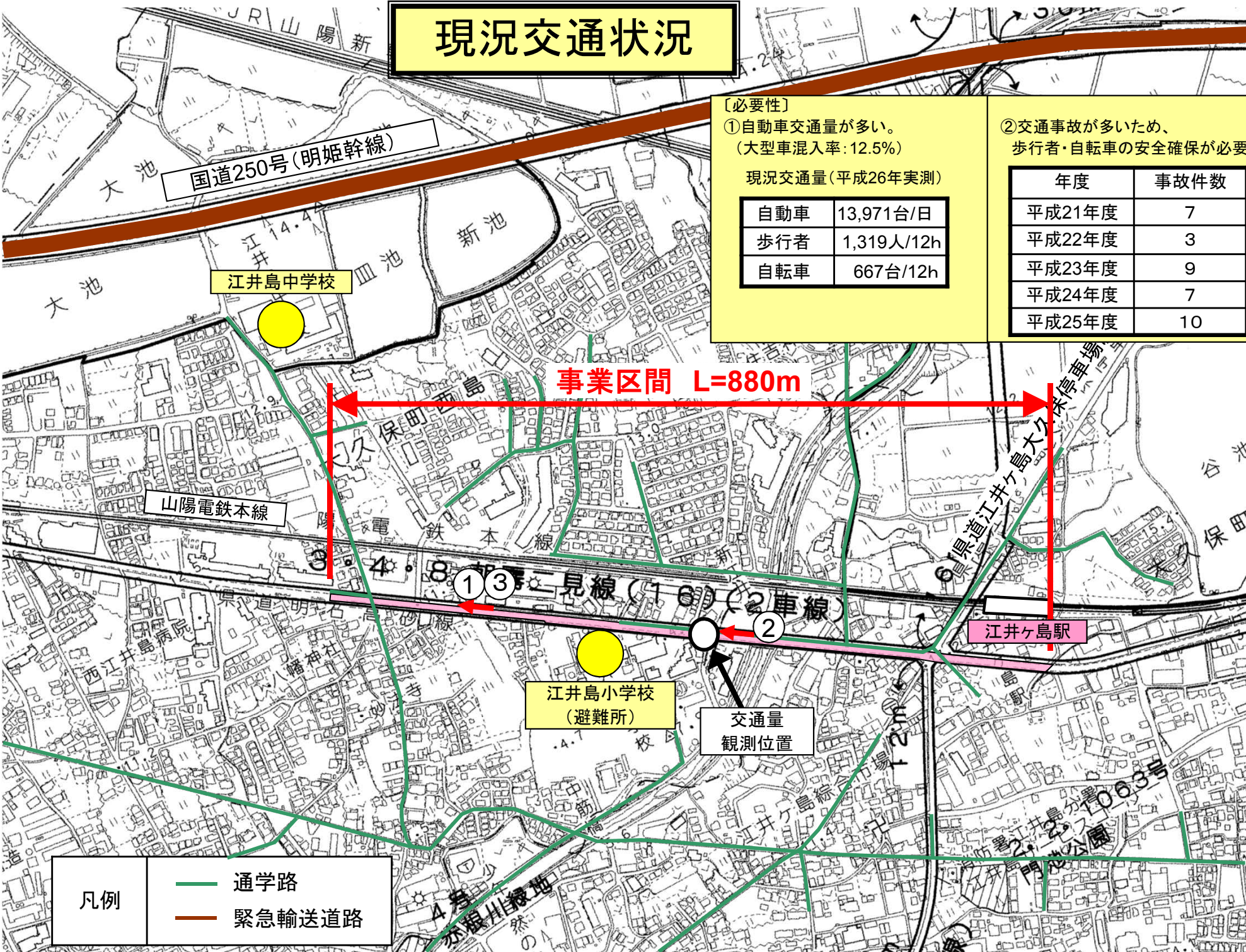
①自動車交通が多い。
(大型車混入率:12.5%)

現況交通量(平成26年実測)

自動車	13,971台/日
歩行者	1,319人/12h
自転車	667台/12h

②交通事故が多いため、
歩行者・自転車の安全確保が必要

年度	事故件数
平成21年度	7
平成22年度	3
平成23年度	9
平成24年度	7
平成25年度	10



街路—3

現況写真

① 事業区間西端部付近

歩道が無い
ため、歩行者は
車道を通
行しており、
危険



② 市立江井島小学校付近

市立江井島小学校

歩道が狭いため、
自転車
が通行する
スペースが
なく、危険

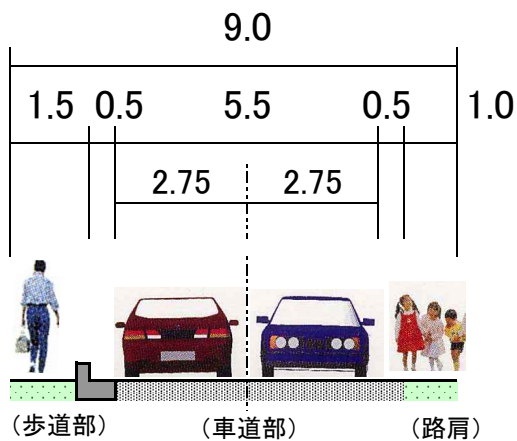


③ 事業区間西端部付近

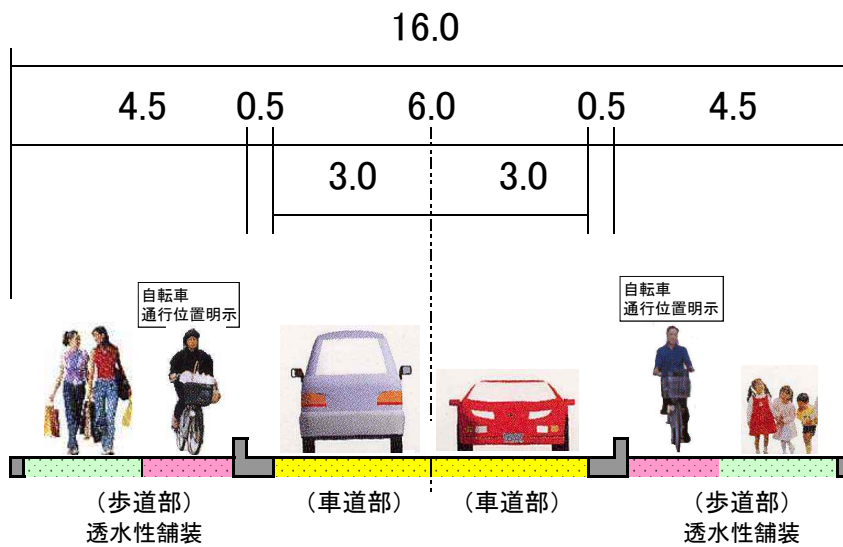
路側が狭く、
大型車
が通行する
際は、非常
に危険



現況断面図



計画断面図



スケジュール

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
調査設計	■						
用地補償		■					
工事				■			

道路・街路事業の効果

対象事業：街路事業（都）朝霧二見線

（１）都市計画道路（朝霧二見線）整備による効果

評価の視点		効果項目	該当する事業内容	
①安全・安心の確保	災害時	緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保 （※緊急輸送道路の整備、防災拠点・災害拠点病院へのアクセス道路）	○	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路と地域の避難所（小学校）を結ぶ避難路の整備 ・西江井島病院（２次救急医療機関）へのアクセス性が向上
		救助・救援活動の支援 （※災害時の通行不能や孤立集落の解消）		
		減災対策への取り組み （※二線堤道路、避難路・避難場所としての機能、延焼防止機能の確保）		
	平時	救急医療体制の支援	○	<ul style="list-style-type: none"> ・西江井島病院（２次救急医療機関）へのアクセス性が向上
		交通安全対策	○	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車走行部の明示により歩行者、自転車双方の安全を確保
	②地域の活性化	地域間交流の促進		—
中心市街地の活性化		—	—	
地域産業の活性化		—	—	
観光支援		○	<ul style="list-style-type: none"> ・江井島海水浴場・少年自然の家へのアクセス性が向上 	
地域プロジェクト等支援		—	—	
③円滑な交通体系の確保	公共交通機関利用の促進 交通結節機能の向上		○	<ul style="list-style-type: none"> ・山陽電鉄江井ヶ島駅へのアクセス性が向上（バス路線）
④地域の環境改善	沿道環境の改善 景観形成		○	<ul style="list-style-type: none"> ・車道部の低騒音舗装による車両騒音の低減

（２）地域からの要望状況等

要望状況等	地元自治会から、早期整備の要望がなされており、事業の執行環境は整っている。
-------	---------------------------------------